

◆ 大学・高等専門学校カリキュラムに連続講座を開設

	新潟大学	長岡技術科学大学	長岡工業高等専門学校
科目名	社会基盤工学概論	建設デザイン論	環境都市工学演習（1a）
対象	調整中	調整中	調整中
学期	調整中	調整中	調整中
概要 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 景観からみた社会工学概論</li> <li>◆ 道路の役割と歴史</li> <li>◆ 社会基盤施設の現場見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 北陸地方における防災と社会資本整備</li> <li>◆ 北陸地方における防災工学各論（道路編）</li> <li>◆ 信濃川における治水について</li> <li>◆ 現場見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 社会資本整備の役割</li> <li>◆ 土木系公共施設の建設（施工方法）</li> <li>◆ 土木系公共施設の維持管理</li> <li>◆ 現場見学</li> </ul>

◆ 建設系高校における講座の開設等

- 地域の歴史的物語講座、建設界の紹介、体験談の紹介、土木施設の役割など、協議会関係機関が連携して各高校1回以上の講座を開設
- 建設産業の仕事講座「けんせつ小町が伝える土木の魅力」の開設  
女性技術者が自らの体験談を語り、将来の地域の安全・安心の担い手づくりにつながります。
- 文化祭への出展の協力

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】（新潟県部会）

◆ 建設系学生・生徒へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の学生・生徒（大学・高等専門学校・高等学校）
- 実習時期：概ね7月～10月の範囲 ○ 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：目的：実践的な職業知識や技術・技能の習得、期間：実施機関と調整
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、新潟県、新潟市、北陸地方整備局
- ※ 協議会として連携を図り、新潟県教育委員会から各高校へ情報提供を実施  
その他、企業等が個別にインターンシップを実施予定。

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生 ○ 実習時期：概ね7月～10月の範囲 ○ 実習場所：県内の企業
- 実習内容：①インターンシップ  
目的：勤労観・職業観の育成  
期間と内容：3日間程度の就業体験（土木・建築現場見学、CAD設計体験等）
- ②デュアルシステム  
目的：実践的な職業知識や技能・技術の習得  
期間と内容：10日間程度の現場実習（土木・建築作業補助、測量補助等）
- 実施機関：県建設業協会、測量設計業協会

◆ 中学生の職場体験

- 対象：中学生
- 内容：建設業の職場体験の受入

◆ キャンプ砂防（北陸地方整備局）

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所



## 高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み（新潟県部会）

### ◆ 県立専門高校メッセ（新潟県教育委員会）

中学生に専門高校や専門学科に対する理解を深める機会を提供する、「県立専門高校メッセ」を支援。

○日 時：平成28年8月23日 ○会 場 朱鷺メッセ（調整中）

○対 象：中学生・保護者・教員及び高校生

○内 容：専門高校による発表・展示・体験

県内大学による大学案内及び県内専門学校による  
学校案内

ものづくり技術の紹介等による県内就労に関する啓発

### ◆ 工業教育フェスタ（新潟県教育委員会）

全県の工業高校が、展示、発表、ロボット競技大会等実施する「工業教育フェスタ」への支援。

○日 時：調整中 ○会 場：調整中 ○対 象：中学生、高校生、一般者

### ◆ 保護者対象の現場見学会及び意見交換会実施

高校OB等若い技術者の参加を呼びかけ、意見交換会については発言しやすいように少人数の班形式など進め方を工夫。

○日 時：平成28年秋 ○会 場 調整中 ○参加者：工業系高校在校生保護者

○内 容：建設現場における土木・建築系教諭の研修、普通高校教諭への建設界理解促進、  
建設界に対する教育関係者との意見交換

### ◆ 工業高校土木・建築、普通高校就職担当教諭及び建設系以外の学生・生徒を対象とする現場見学及び意見交換会実施

建設界への理解と魅力の拡散を図るため、工業高校土木・建築、普通高校就職担当教諭を対象とする現場見学及び意見交換会の実施

○日 時：平成28年秋 ○会 場 調整中

○参加者：工業高校土木・建築、普通高校就職担当教諭

○内 容：建設現場における土木・建築系教諭の研修、普通高校教諭への建設界理解促進  
建設界に対する教育関係者との意見交換

3

## 新たな取り組み（新潟県部会）

### ◆ 県内の土木系高等学校において地質調査技術に関する授業協力（新潟県地質調査業協会）

### ◆ 工業高校生を対象に「2級土木施工管理技士学科試験準備対策講習会」を実施（新潟県建設業協会）

在学中の資格取得を支援する取り組みを試行する。

### ◆ 小学生を対象にした「現場見学会」（新潟県建設業協会）

28年度は対象学校を県内全域の小学校とし、実施校数5校以上に拡大する。

### ◆ 建設コンサルタントをPRする冊子の整備並び

に「建コン動画」の第2弾、第3弾の製作（建設コンサルタンツ協会北陸支部）

北陸3県全ての高等学校へ建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を継続する。



### ◆ 橋梁点検実習（北陸地方整備局・長岡国道事務所）

塩沢商工高等学校新3年生と業者（建設会社、コンサルタント）の若手技術者、長岡国道の若手職員で、橋梁補修をテーマに実習を行う。

4

2

◆ 大学カリキュラムに連続講座を開設 (北陸地方整備局)

富山県立大学		
対象	1年生	2年生
学期	前期	後期
概要 (予定)	◆ 社会資本の役割等 (総論) ◆ 現場見学を見据えた講義 (河川) ◆ 現場見学を見据えた講義 (砂防) ◆ 現場見学 (立山カルデラ)	
	◆ 10~20人のゼミ形式による講座 (総論、現場見学、総括討議)	

◆ 建設系高校における講座の開設等 (北陸地方整備局・県建設業協会等)

	富山工業高等学校		桜井高等学校			高岡工業高等学校		南砺福野高等学校	
対象	1年生	2年生	1年生	2年生	3学年	2年生	3年生	1・2年生	1・3年生
学期	2学期	2学期	2学期	2~3学期	1学期	2学期	1学期	1学期	2学期
概要 (予定)	◆ 現場見学 (港湾工事について)	◆ 講座 (いっ万の歴史と役割) ◆ 現場見学	◆ 現場見学 (宇奈月ダム)	◆ 講座 (土木について) ◆ 現場見学	◆ 講座 (砂防工事について) ◆ 現場見学	◆ 現場見学 (土木工事の施工法、目的の理解)		◆ 現場見学 (利賀ダム)	◆ 現場見学

※その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

◆ 高校向け実習等への講師派遣 (県測量設計業協会)

測量技術や機器は日々進歩しており、業界の現状や新技術など担い手に魅力的な情報を提供する。  
平成28年度は、富山県立大学 (1年生) の実習に講師を半年間派遣。

建設系学生・生徒への活動 【インターンシップの充実】 (富山県部会)

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
  - 実習時期：概ね7月~10月
  - 実習場所：県内の企業、官公庁
  - 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
  - 実施機関：建設コンサルタツ協会、県建設業協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 大学・専門学校生へのインターンシップ (富山県インターンシップ推進協議会との連携)

- 富山県内の大学・専門学校が加盟する富山県インターンシップ推進協議会と連携を図り、インターンシップ情報・活動の充実を図る。
- 協議会加盟学校：富山大学、富山県立大学、富山国際大学、高岡法科大学、富山短期大学、富山高等専門学校
- 実施機関：県建設業協会、建設コンサルタツ協会、測量設計業協会、富山県、北陸地方整備局



インターンシップの流れ (富山県インターンシップ推進協議会HPより)

◆ 高校生を対象としたSABO体験築校 (北陸地方整備局)

県内の高校生を対象に、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通じ、学校の授業では得難い砂防の工事を実際に体験。

- 対象学生：富山県内の高校生10名
- 実習時期：夏休み中2泊3日
- 実習場所：北陸地方整備局 立山砂防事務所管内



山腹工体験



コンクリート打設

H27 SABO体験実施状況

◆ キャンプ砂防 (北陸地方整備局)

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。

- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月~9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所

## 普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み（富山県部会）

### ◆ 社会に学ぶ 14歳の挑戦（富山県教育委員会）

行動領域が広がり活動が活発になる中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指します。

- 時期：地域や学校の実情等を踏まえて設定
- 期間：1週間（実際の活動は土日を除く5日間）
- 対象：県内全公立中学校で実施



### ◆ 立山カルデラ砂防体験学習会（富山県立山カルデラ砂防博物館）

立山カルデラを実際に訪れ、自然・歴史と砂防を自分の目で確かめます。

- 日時：平成28年7月～10月秋
- 参加資格：小学3年生以上（小学生は保護者同伴）。
- 内容：立山カルデラまでの移動手段として、立山砂防事務所の砂防工事専用軌道のトロッコ列車を利用するコース。立山カルデラまでの移動にバスを利用するコース。  
本宮砂防えん堤、護天涯の碑・噴泉、白岩砂防えん堤を巡るバスコース（文化遺産巡りコース）  
白岩砂防えん堤を見学後、常願寺川下流の大転石などを巡るバスコース（常願寺川流域コース）



### ◆ Facebook “いいね！とやまの土木”（富山県土木部）

富山県土木部が実施する事業やイベントの情報など、皆さんの生活に役立つ土木の「いいね！」を発信します。

### ◆ 女性の視点を活用した情報発信 “土木はカッコイイ！”（富山県土木部）

土木業界自体が自覚していない土木の「いいね！」を女性目線から発見してもらい、今後担い手となりうる若者（高校生等）に向けて、女性視点から見た土木の「いいね！（カッコイイ！）」をパンフレットにより発信します。



7

## 普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み（富山県部会）

### ◆ 「とやま建設フォトコンテスト」（県建設業協会）

広く一般の方々を対象に、建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集・表彰  
募集期間：11月～翌2月

### ◆ インフラツーリズム（県測量設計業協会）

高校生を対象に、先人たちの知恵や功績を知ってもらうために、県内の土木遺産や施設などを見学し、土木への関心を高める。当面は建設系高校を対象とするが、最終的には普通科を含め中学生や保護者も視野に入れて企画していく。



第6回 とやま建設フォトコンテスト 特選

### ◆ 小学校での測量教室の開催（県測量設計業協会）

国土地理院北陸地方測量部の協力を得て地図教室と測量教室を実施。実習では測量機器の説明・実習のほか、身近なものを利用して「測る」知恵を学んでもらう。

### ◆ 建設コンサルタントをPRする冊子・動画の整備並びに更新版の製作

（富山県土木部、県建設業協会、建設コンサルタンツ協会北陸支部）

- ・PR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を建設系大学等に配布し、学校からの要望に基づき、業務内容とキャリアプラン等についての説明会を継続する。
- ・小・中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づき、出前講座の実施を継続する。
- ・「建コンPR動画」を高等学校等に配布するとともに、新たなPR動画を製作する予定。



8

◆ 大学・高等専門学校カリキュラムに連続講座を開設

	金沢大学		金沢工業大学		石川工業高等専門学校
対象	1年生	3年生	1年生	3年生	2年生
学期	前期	前期			
概要(予定)	◆ 座学又は現場見学	◆ 座学(建設界連携による公共事業の進め方)	◆ 現場見学	◆ 「進路セミナーⅠ」(建設界の紹介・魅力・特徴等を紹介)	◆ 現場見学・意見交換会

◆ 建設系高校における講座の開設等

	小松工業高等学校		金沢市立工業高等学校		羽咋工業高等学校	
対象	2年生	全学年	2年生	全学年	2年生	全学年
学期	3学期		2学期		2学期	
概要(予定)	◆ 講座(建設業協会との意見交換)	◆ 現場見学	◆ 講座(建設業協会との意見交換)	◆ 現場見学	◆ 講座(建設業協会との意見交換)	◆ 現場見学

※その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

◆ 工業高校生との意見交換会（県建設業協会）

建設業の現状、高校生が実際の仕事をどのように感じているか、会社に対する期待などについて意見交換会を実施

◆ 高校向け実習等への講師派遣（県測量設計業協会）

石川県高等学校ものづくりコンテスト、石川県高等学校測量技術コンテスト等に講師を派遣

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】（石川県部会）

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
- 実習時期：概ね7月～10月
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、県建設業協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 工業系高校生の派遣研修（県建設業協会）

- 資格取得のため、工業系高校生を富士教育訓練センターへ派遣

◆ 建設系大学生・高等専門学校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の大学生・高等専門学校生
- 実習時期：概ね7月～10月の範囲
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：目的：実践的な職業知識や技術・技能の習得  
期 間：実施機関と調整（※金沢河川国道事務所の実施例（H27実績）→1週間～3ヶ月間）
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、県建設業協会、石川県、北陸地方整備局

◆ キャンプ砂防（北陸地方整備局）

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所



- ◆ 「市民見学会」について、石川方面の見学会も検討する (日本建設業連合会北陸支部)
- ◆ 北陸3県全ての高等学校へ「建コンPR動画」のチラシを配布し、建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る。「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布 (建設コンサルタンツ協会北陸支部)
- ◆ 工業系高校の保護者との意見交換会の拡充を図るため、実施高校を拡大して、進路決定に影響力を持つ保護者に建設界のことを知ってもらうため意見交換会を実施。 (石川県建設業協会)
 

普通科高校への意見交換会の拡充を図るとともに、現場見学会を通して各校の普通科高校生に建設産業の社会的役割や魅力について広く理解を求める。

小学校のバザー等に建設ブースを設置し、ものづくり教室を実施。
- ◆ 「測量の日」の関連事業を金沢・加賀・能登地区の3小学校で5年生を対象に「緯度経度と日本の測量についてまなぶ」授業を実施。野外授業では、ドローンを使用した授業等を実施予定 (県測量設計業協会)
- ◆ 工業系高校を対象に、地質調査業の魅力を伝える説明会を開催 (石川県地質調査業協会)

- ◆ 普通科等高校に向け
 

現場見学会を実施 (建設現場の見学や仕事の説明等を実施し、建設業に対する正しいイメージの定着を促し、建設業への入職意欲向上を図る)

教員・生徒との意見交換会 (生徒に対する建設業のPRや企業で働く先輩との意見交換の他、教員と業界との意見交換も行い、建設業への入職促進に関する現状・課題等への理解を図る。)
- ◆ 児童・保護者向け
 

子供向け土木イベント「目指せ！土木エンジニア」等のイベントを通じて、土木に対して親しみを持ってもらい、保護者に対しても、建設業へのイメージアップを図る。

(石川県)
- ◆ 現場見学会提案工事の実施
 

平成27年度試行の「現場見学会提案・実施モデル工事」の実施を受けて、今年度より事務所独自の、「現場見学会提案工事」を試行する。対象としては、工事実施地区の小学校、中学校、工業系の高校とする。
- ◆ 普通科等高校の教員を対象に現場見学会を実施
 

普通科等高校の教員を対象とした現場見学会を実施 (就職担当の先生に、建設界への理解と魅力を感じてもらい、就職指導の参考として頂く)

(金沢河川国道事務所)

# 継続的な取り組み（石川県部会）

## ◆ 金沢大学の「土木建設防災マネジメント特別講演会」における取組

- 【◎金沢大学、石川県建設業協会、建設コンサルタンツ協会、石川県測量設計業協会、金沢河川国道事務所】
- ・担い手協議会石川県部会での取組の一環として、金沢大学の3回生、合計約60名を対象に、特別講演会を実施。
  - ・「建設の仕事」を道路事業を事例に、測量・コンサルタント・工事（改良・舗装）・国土交通省の各部門から金沢大学OB等が講師となって、就職のきっかけから現在の職務について紹介。

産学官連携による特別講義

平成27年12月21日（月）13:00～14:30

建設の仕事（公務員・測量・コンサル・建設）  
すべて見せます

～能越自動車道七尾氷見道路が開通するまでを事例として～

進行概要

### 1. 講義（13:00～14:15）

- |                  |        |        |
|------------------|--------|--------|
| ①金沢河川国道事務所       | 阿部 良司  | 「資料-1」 |
| ②（一社）石川県測量設計業協会  | 仙臺 幸宏  | 「資料-2」 |
| ③（一社）建設コンサルタンツ協会 | 高島 智佳子 | 「資料-3」 |
| ④（一社）石川県建設業協会    | 菊川 雅司  | 「資料-4」 |
| ⑤（一社）石川県建設業協会    | 北村 啓太  | 「資料-5」 |

### 2. 質問時間（14:15～14:30）

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所  
（一社）石川県建設業協会  
（一社）建設コンサルタンツ協会  
（一社）石川県測量設計業協会



女性技術者への期待や職場環境への取組みについても紹介



講師は、建設界に携わる5名の卒業生等



講義状況



約60名の学生が聴講



## 平成28年度の活動予定(新たな取り組み等)

新潟県部会	P 1～P13
富山県部会	P14～P21
石川県部会	P22～P36

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会



## 平成28年度の活動予定(新たな取り組み等)

- (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
  - ・今年度から継続した活動を予定P2
- 日本建設業連合会北陸支部
  - ・土木学会新潟会との共催で小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」について
  - ・「市民現場見学会」についてP3
- (一社)新潟県地質調査業協会
  - ・県内土木系高等学校において地質調査技術に関する授業協力P4
- 新潟県立新潟工業高等学校
  - ・資格取得・技術力向上の取組についてP5
- 新潟県教育庁高等学校教育課
  - ・県立専門高校メッセの開催
  - ・インターンシップ、デュアルシステムの実施P6
- (一社)新潟県建設業協会
  - ・工業高校生を対象に「2級土木施工管理技士学科試験準備対策講習会」を実施
  - ・小学生を対象にした「現場見学会」の拡大実施P8
- (一社)日本道路建設業協会北陸支部
  - ・来年度についてもインターンシップの取り組みを充実していく予定P9
- 北陸地方整備局
  - ・MPレーダ見学(富山出張所)の要望 (北陸技術事務所)
  - ・平成28年度活動計画(案)の策定並びに調整 等 (高田河川国道事務所)
  - ・千曲川直轄改修100周年に関する活動 等 (千曲川河川事務所)
  - ・橋梁点検実習 (長岡国道事務所)
  - ・鷹ノ巣道路の工事現場での中学生を対象とした現場見学会等 (羽越河川国道事務所)

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

(新潟県部会)

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部

今年度の取り組みを基にして、継続した次の活動を予定しております。

- ① 建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を北陸支部管内の建設系大学等9校に配布し、学校からの要望に基づき、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について説明会を継続して実施する予定
- ② 平成16年から「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づいて出前講演を行っており、平成28年度も継続して実施する予定
- ③ 北陸支部会員各会社において、平成28年度もインターンシップの受入れの募集を行い、建設コンサルタント業務などの実習・体験など行ってもらう予定
- ④ 今年度と同様に、乗船体験をしながら、信濃川から見た「やすらぎ堤」「萬代橋」などを見学する「親子で見学会」を開催する予定
- ⑤ 北陸支部主催の「業務・研究発表会」に、今年度と同様に学生からの講演を予定しており、北陸支部管内の建設系の大学等にも聴講案内を行う予定
- ⑥ 今年度、現在制作中の第2弾「建コンPR動画」についても、第1弾同様に行政機関の後援をいただき、チラシ等を北陸支部管内の高等学校に配布する予定
- ⑦ 建設コンサルタントをPRする冊子の整備並びに第3弾の動画製作を予定
- ⑧ 建設コンサルタンツ協会本部が作成した大学生向けリーフレット及びポスターを活用して、関係大学等へ広く広報する予定
- ⑨ 今年度と同様に、学校からの要望に基づいて、講演会や講師の派遣等を行う予定
- ⑩ 今年度と同様に、担い手確保・育成促進協議会、行政機関等と連携して、現場見学会、講師派遣等を行う予定

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：日本建設業連合会北陸支部

- ① 土木学会新潟会との共催で小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」については、引き続き今年も実施することとしています。  
見学場所については、6月頃に選定することとし、特に親の理解が深まるような企画を検討していきます。
- ② 「市民現場見学会」については、担い手協新潟部会の計画に基づき、今年度は新潟大学の学生が対象になりますが、引き続き富山、石川方面の見学会も検討していきます。

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：(一社)新潟県地質調査業協会

県内土木系高等学校において地質調査技術に関する授業協力

- 授業協力の高等学校は調整中
- 授業内容(予定)
  - ・ 地質調査の目的とその調査内容
  - ・ ボーリング調査の概要(映像等を活用)
  - ・ 各種現位置試験の概要と実施
  - ・ 土質試験の概要(映像等を活用)

## 議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：新潟県立新潟工業高等学校

件名

資格取得・技術力向上の取組について

要旨

①資格取得に向けた支援について

建築土木系の資格取得は授業中の指導だけでは難しい。技術者から資格取得の指導をお願いしたい。

（主な資格）

・測量士補、土木施工管理技士、建築施工管理技士、管工事施工管理技士等

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名：新潟県教育庁高等学校教育課

### 1 県立専門高校メッセの開催

期 日：平成28年8月23日(火)

会 場：朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）

内 容：来場者が体験等をとおして、興味・関心や理解を深めることができる企画とする。

出展者：専門高校、総合高校、上級学校、企業・団体等

### 2 インターンシップ、デュアルシステムの実施

各学校の計画、参加生徒の希望状況等により、研修協力を依頼する。

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：一般社団法人新潟県建設業協会

平成27年度の取組みを継続するとともに、下記について新たに取り組む。

### 1. 工業高校生を対象に「2級土木施工管理技士学科試験準備対策講習会」を実施

当会では、若年者の建設産業への入職促進を図ることを目的に、富士教育訓練センターの協力を得て、夏休み期間等を利用した「2級土木施工管理技士学科試験受験対策講習会」を実施し、在学中の資格取得を支援する取組みを試行する。

#### 【28年度試行の取組み】

- ・対象学校：新潟県立新潟工業高校を予定
- ・参加者数：20人以上
- ・実施時期：平成28年8月の夏休み期間中の3日間
- ・負担額：自己負担額9,000円（税込）を予定  
（テキスト持参の場合：7,000円（税込）を予定）

※受講生へのアンケート、学科試験合格率の確認及び受講生の自己負担のあり方、試行結果等を踏まえて、平成29年度以降の実施方法を決定する。

### 2. 小学生を対象にした「現場見学会」の拡大実施

小学校では、様々な体験を通して勤労観・職業観を育むとともに、身近な仕事への関心と地域社会とのつながり等を考えさせる取組みの「キャリア教育」を推進している。

ものづくり産業を支える「人づくり」に取り組む当会では、これに協力し、小学生等が、社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に、平成20年度から現場見学会を実施している。

28年度は対象学校を県内全域の小学校とし、また、毎年度、多くの学校から申し込みがあることから、実施校数を拡大して実施する。

#### 【28年度の取組み】

- ・対象学校：新潟県内の小学校
- ・実施数：6校以上
- ・見学箇所：大河津可動堰・信濃川大河津資料館

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）日本道路建設業協会北陸支部

- ・来年度についてもインターンシップの取り組みを充実していく予定

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：北陸技術事務所

### ●MPレーダ見学（富山出張所）の要望

- ・ 富山大学 大学院理工学研究部 環境・エネルギー学域 地球環境システム学系  
安永数明（ヤスナガカズアキ）教授より要望。

「富山防災センターの見学に加え、水橋サイトのMPレーダ見学（観測原理や目的の紹介等）を含めることは可能か。」

- ・ こちらからは対応可能と回答。  
（MPレーダの説明は本局職員が対応することで調整済み）

- ・ 安永教授より回答。

「来年度の授業計画を立て、見学できる日程が確保できそうなら、再度、相談させてほしい。」

—以 上—

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：高田河川国道事務所

- ・平成28年度活動計画(案)の策定並びに調整  
新潟県建設業協会上越支部並びに新潟県上越地域振興局と協議中。今後、上越総合技術高等学校並びに高田農業高等学校と行事予定の調整を行う予定。
- ・事業広報関係資料の作成  
関川、姫川河川事業並びに糸魚川地区橋梁架替事業を対象に説明資料を作成中。
- ・平成28年度姫川・関川総合水防演習における建設業等協会団体の参加  
北陸地方整備局主催の総合水防演習に地元建設業協会が参加・PR

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：千曲川河川事務所

- 千曲川・犀川ふれあい絵画コンクール（小・中学生対象）の実施
- 信州環境フェアへの参加予定
- 総合学習
- 中学校での水生生物調査
- 夏期実習生の受け入れ
- 千曲川直轄改修100周年に関する活動

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：長岡国道事務所

### 【塩沢商工高等学校】

#### ◆橋梁点検実習（新たな取り組み）

・キャリア教育やコミュニケーション力向上の視点も含め、塩沢商工高等学校新3年生（土木系科目を履修する7名）と業者（建設会社、コンサルタント）の若手技術者、長岡国道の若手職員で、橋梁補修をテーマに実習を行う予定。

#### 1. 目的

高度経済成長期に建設された社会資本整備の長寿命化対策は、今後の土木業界における課題のひとつである。そこで、補修技術を含めた維持管理業務に興味関心を持ち、対応できる人材の育成を目的とする。

#### 2. 特長

若手技術者の参加により下記の特長を有する。

##### 1) キャリア教育の視点

・若手土木技術者との交流により、進路を考える機会を提供したい。

##### 2) コミュニケーション力の向上

・土木工事は、受発注者及び地元等の協力が欠かせない。また一人で考えるのではなく会社（チーム）として対応できるなど、若手技術者とのグループ討議等も含めた実習を通じて、コミュニケーション力を身につけて欲しい。

#### 3. 具体内容（素案）

##### 1) 橋梁補修（事前学習）

維持管理計画／損傷及び原因／補修方法／点検方法

##### 2) 橋梁点検（現地実習）

現地にて橋梁点検を実施／点検結果まとめ／補修方法の提案（グループ討議）

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：羽越河川国道事務所

- ・ 鷹ノ巣道路の工事現場を対象として、地元の小中学校に現場説明会を予定。
- ・ 連携校（新発田南高校）へ継続的に現場見学会を開催予定。



## 平成28年度の活動予定(新たな取り組み等)

### ○ 北陸地方整備局

- ・ 大学カリキュラムの連続講座の開設・建設系高校における講座の開設等 P15
- ・ 黒部河川事務所の活動予定 P16
- ・ 利賀ダム工事事務所の活動予定 P18

### ○ (一社)建設コンサルタント協会北陸支部

- ・ 平成28年度の活動予定 P21

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
(富山県部会)

◆大学カリキュラムの連続講座の開設

平成28年1月現在

		H27実績		カリキュラム	H27年度	H28年度
富山県立大学	前期 (1年生)	1回目	6月19日	地域の物語	富山河国(総論)	立山砂防(総論)
		2回目	6月26日	個別事業	富山河国(道路)	富山河国(河川)
		3回目	7月3日	個別事業	伏木富山(港湾)	立山砂防(砂防)
		現場見学	7月10日		富山河国・伏木富山	立山砂防(カルデラ)
	後期 (2年生)	1回目	11月6日		黒部河川(総合土砂)	利賀ダム工事
		現場見学	11月23日	11月迄(降雪期前)	黒部河川(総合土砂)	利賀ダム工事
		第2回目	1月29日		黒部河川(総合土砂)	利賀ダム工事

H28年度の開催時期・実施内容は学校側と今後調整

富山大学	H28年度以降、調整
------	------------

◆建設系高校における講座の開設等

		H27実績		カリキュラム	H27年度	H28年度
富山工業	1年生	2学期	9月8日	現場見学 (埋立浚渫協会共催)	伏木富山港湾	伏木富山港湾
	2年生	2学期	12月11日	座学 (インフラの歴史と役割)	伏木富山港湾	伏木富山港湾
	2年生	2学期	9月25日	現場見学 (建設業協会主催)	富山市・富山県・富山河国	建設業協会(事務所連携)
	1~3年生	夏期	8月4~6日	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防
桜井高校	1年生	2学期	10月27日	現場見学 (宇奈月ダム見学)	黒部河川	黒部河川
	2年生	2~3学期	9月28日	現場見学 (海岸工事)	黒部河川	黒部河川
	2年生	3学期	2月16日	講座	黒部河川	黒部河川
	3年生	1学期	5月29日	現場見学 (建設業協会主催)	富山県・黒部河川	建設業協会(事務所連携)
		1学期	6月19日	講座 (砂防工事について)	黒部・立山砂防	黒部・立山砂防
1~3年生	夏期	8月4~6日	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防	
高岡工芸	2年生	2学期	10月2日	現場見学 (建設業協会主催)	高岡市・富山県・富山河国	建設業協会(事務所連携)
	3年生	1学期	7月2日	現場見学	富山河国	富山河国
南砺福野	1年生	1学期	7月10日	現場見学	利賀ダム工事	利賀ダム工事
	2年生	1学期	7月10日	現場見学	利賀ダム工事	利賀ダム工事
	1・3年生	2学期	10月20日	現場見学 (建設業協会主催)	富山県・伏木富山・富山河国	建設業協会(事務所連携)

H28年度の開催時期・実施内容は代表事務所と学校側で今後調整

代表事務所(協力事務所) 県立大学:富山河国(立山砂防)  
 県立工業:伏木富山(立山砂防)  
 桜井高校:黒部河川(立山砂防)  
 高岡工芸:富山河国  
 南砺福野:利賀ダム

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：黒部河川事務所

1. 桜井高校のH28年度活動に対する意見（H28.1.7 土木科稲垣科長に確認）  
平成27年度に実施した活動すべてを平成28年度も継続実施して欲しい。
2. 建設業協会入善支部のH28年度活動に対する意見（H28.1.15 嘉義事務局長に確認）  
平成28年度も共催の立場で協力していく。
3. 黒部河川事務所のH28年度活動について
  - ①桜井高校並びに建設業協会入善支部のご理解を頂いたことから、平成27年度に実施した活動内容すべてについて平成28年度も継続実施する。
  - ②実施にあたっては、今年度の内容を検証し、より充実した内容で取り組むようにしたい。
  - ③新規の活動内容はない。

※平成28年度取組予定（案）：別紙のとおり

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 平成28年度 個別取組予定(案)

学校名	事務所	黒部河川事務所		担当課	調査課	担当者	伏木 裕二
		担当教官	連絡先				
富山県立桜井高等学校	学部	学科	役職	氏名	電話	E-mail	
			土木科	科長	稲垣 利治	0765-52-0120	inagaki-toshiharu@tym.ed.jp
対象	時期	実施内容	場所	支援・連携状況(機関、業団体等)			
3学年	5月下旬～6月上旬	現場見学(土木工事の施工法、目的が理解できる現場)	未定	富山県建設業協会 富山河川国道事務所			
2学年	9～11月	現場見学(土木工事の必要性や社会に及ぼす影響が理解できる現場)	海岸工事	富山県建設業協会入善支部			
1学年	9～11月	現場見学(土木に対する興味を持たせる現場)	宇奈月ダム	富山県建設業協会入善支部			
2学年	7月末～8月初旬	インターンシップ	—				
部活土木部	8月	現地見学(身近な土木施設を学ぶ)	事務所管内				
2学年	3学期(1月～2月)	講座(90分、土木について) ※民間と公務員の仕事の違い	学校	富山県建設業協会入善支部			
1学年～3学年	8月	現場見学(SABO体験築校)2泊3日:5名程度	立山カルデラ内				
3学年	6月	講座(110分、砂防について)	学校	立山砂防事務所			

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

事務所名：利賀ダム工事事務所

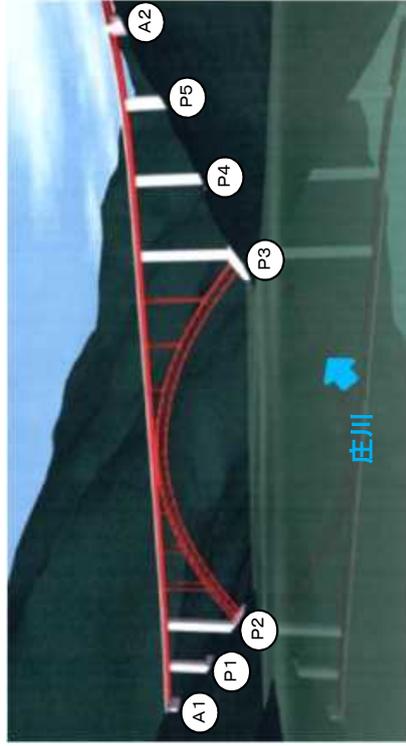
- ・平成28年度は大規模橋梁の上部工架設の最盛期になり、それらの現場見学や現地においてダム事業の説明を中心に活動する。
- ・なお、大規模橋梁の平成28年度の主な施工内容は、アーチ部の架設（庄川橋梁は4～6月、豆谷橋梁は7～11月）となります。現場見学のご希望がございましたら、タイミングを逃さずにお越しいただきたい。

※現時点の予定工程等は別添資料のとおりです。

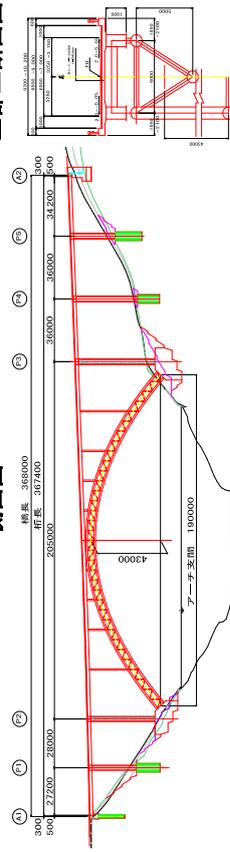
# 利賀ダム庄川橋梁上部工事

## 工事概要

- 工事名 利賀ダム庄川橋梁上部工事
- 工事箇所 富山県南砺市利賀村栃原～長崎地先
- 工期 (自)平成26年12月12日  
(至)平成30年12月20日
- 橋長 368.0m
- 鋼重 1,725t
- 有効幅員 8.5m
- 橋種 鋼上路式アーチ橋
- 支間長 27.2+28.0+205.0+36.0+36.0+34.2m



側面図



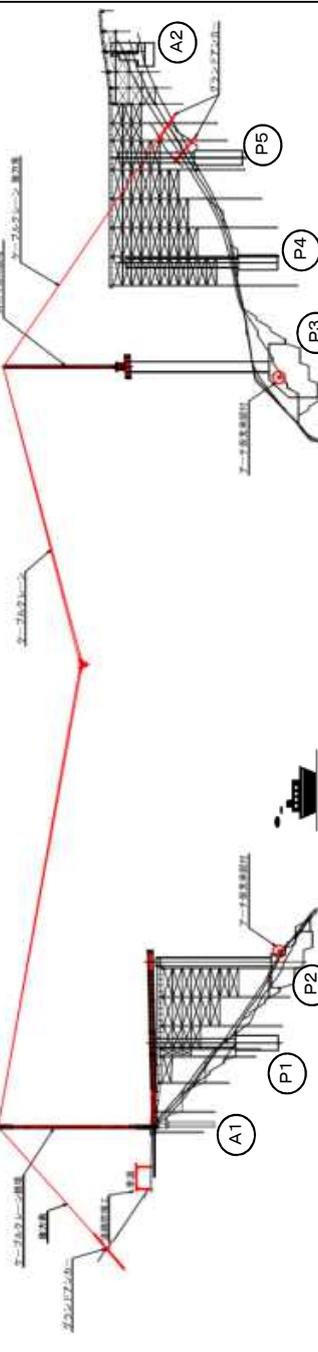
位置図



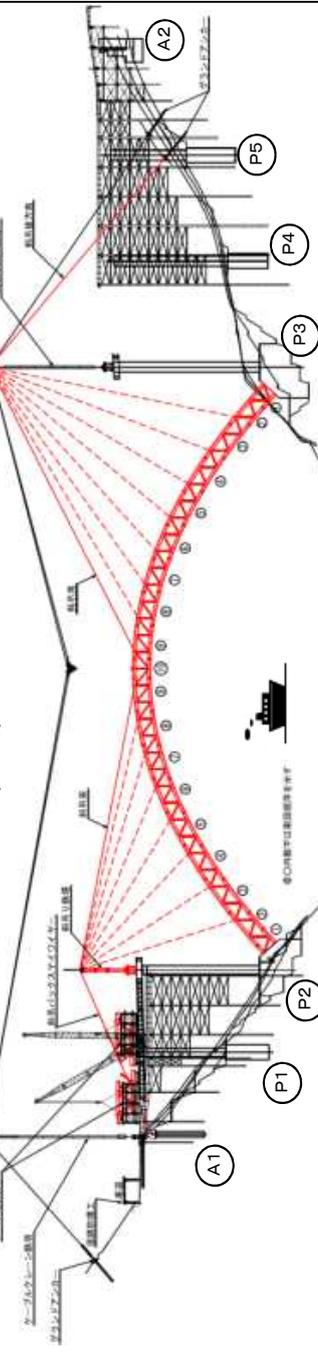
## 施工方法

平成28年1月時点の予定工程

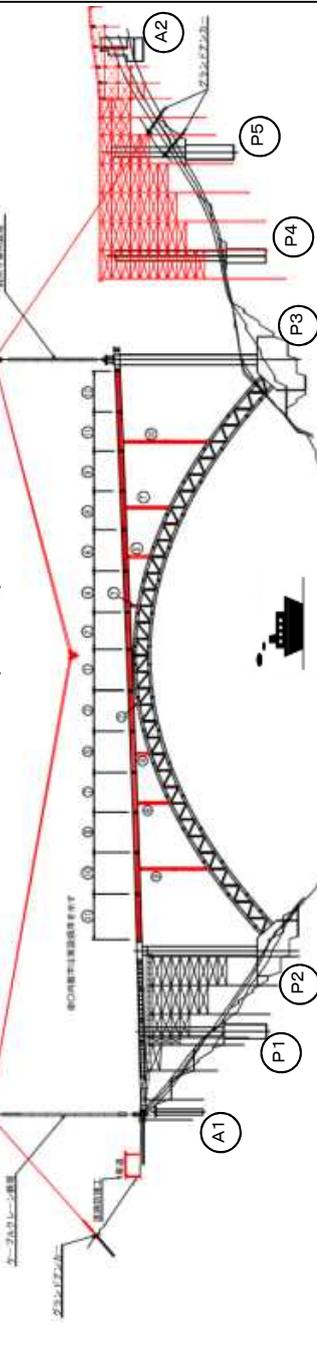
【STEP2】ケーブルクレーン設備組立, アーチ仮支据付 (施工年度H27年末)



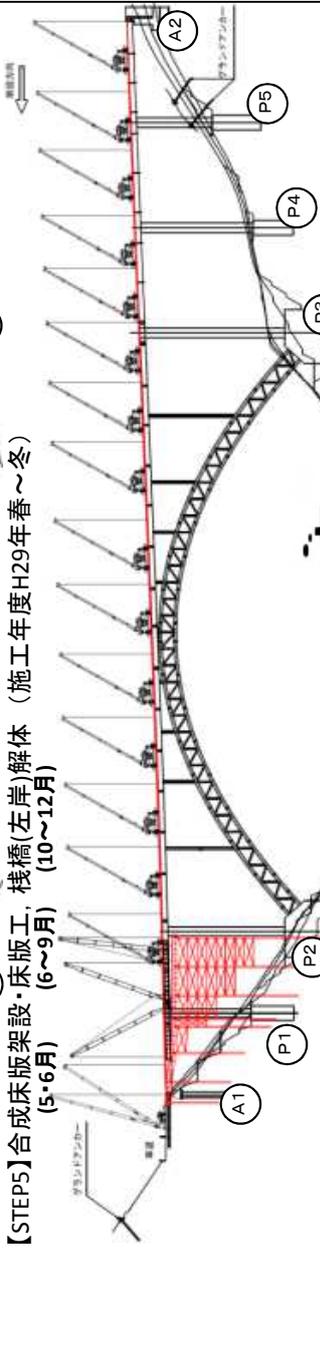
【STEP3】斜吊設備組立, アーチ部架設, 斜吊設備解体 (施工年度H28年春～夏)  
(4月) (4～6月) (6・7月)



【STEP4】支柱・補剛桁架設, ケーブルクレーン設備, 道路防護工, 棧橋(右岸)解体 (施工年度H28年夏～冬)  
(7～9月) (9・10月) (10・11月) (11・12月)



【STEP5】合成床版架設・床版工, 棧橋(左岸)解体 (施工年度H29年春～冬)  
(5・6月) (6～9月) (10～12月)



【STEP6】舗装工 (施工年度H30年)

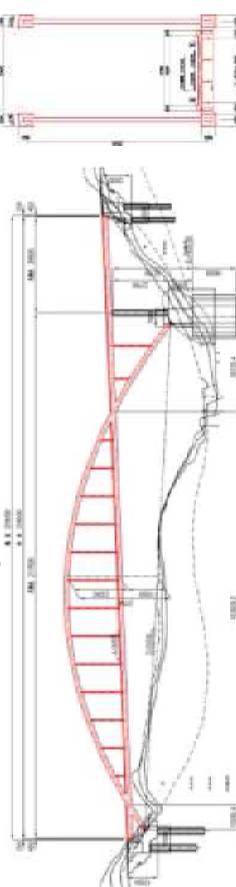
# 利賀ダム豆谷橋梁上部その2工事

## 工事概要

- 工事名 利賀ダム豆谷橋梁上部その2工事
- 工事箇所 富山県南砺市利賀村大豆谷地先
- 工期 (自)平成26年12月23日  
(至)平成30年 7月31日
- 橋長 259.0m
- 鋼重 2,521.6t
- 有効幅員 8.5m
- 橋種 鋼中路式ローゼアーチ橋
- 支間長 217.8+39.8m



側面図



アーチ部断面図

位置図

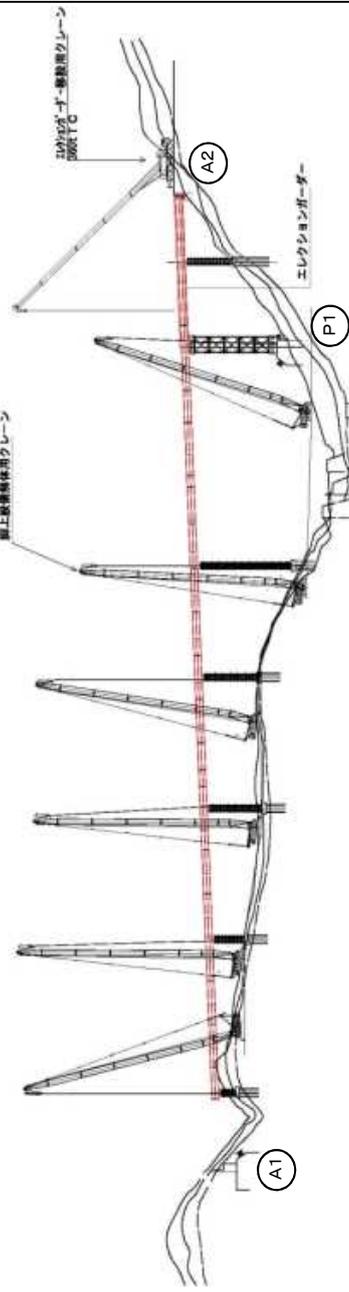


豆谷橋梁上部その2工事(H26~30)

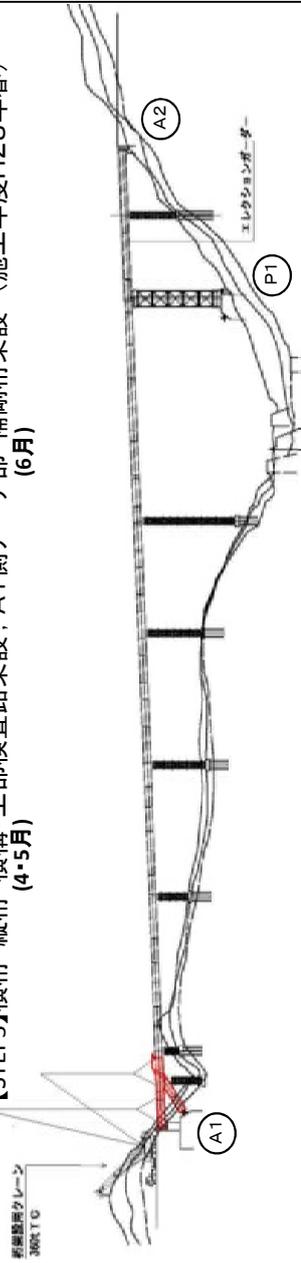
## 施工方法

平成28年1月時点の予定工程

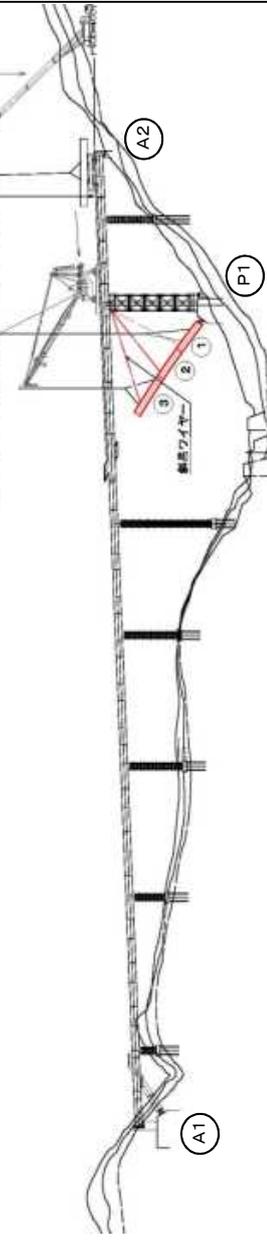
【STEP2】ベント設備組立, 補剛桁送出し架設 (施工年度H27年末)



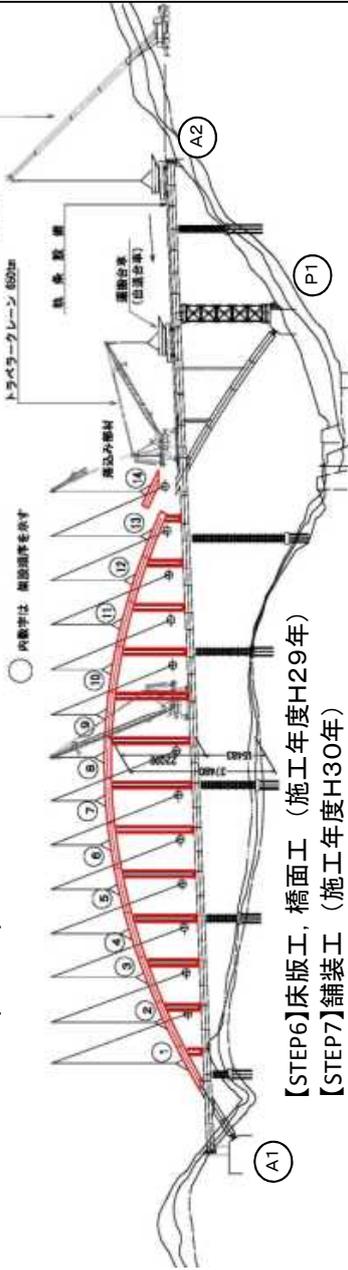
【STEP3】横桁・縦桁・横構・上部検査路架設, A1側アーチ部・補剛桁架設 (施工年度H28年春)  
(4・5月) (6月)



【STEP4】P1側アーチ部 トラペラクレーン架設 (施工年度H28年夏)  
(7・8月)



【STEP5】垂直材・アーチ部 トラペラクレーン架設 (施工年度H28年秋)  
(9~11月)



【STEP6】床版工, 橋面工 (施工年度H29年)

【STEP7】舗装工 (施工年度H30年)

## 平成28年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部

今年度の取り組みを基にして、継続した次の活動を予定しております。

- ① 建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を北陸支部管内の建設系大学等9校に配布し、学校からの要望に基づき、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について説明会を継続して実施する予定
- ② 平成16年から「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づいて出前講演を行っており、平成28年度も継続して実施する予定
- ③ 北陸支部会員各会社において、平成28年度もインターンシップの受入れの募集を行い、建設コンサルタント業務などの実習・体験など行ってもらう予定
- ④ 北陸支部主催の「業務・研究発表会」に、今年度と同様に学生からの講演を予定しており、北陸支部管内の建設系の大学等にも聴講案内を行う予定
- ⑤ 今年度、現在制作中の第2弾「建コンPR動画」についても、第1弾同様に行政機関の後援をいただき、チラシ等を北陸支部管内の高等学校に配布する予定
- ⑥ 建設コンサルタントをPRする冊子の整備並びに第3弾の動画製作を予定
- ⑦ 建設コンサルタンツ協会本部が作成した大学生向けリーフレット及びポスターを活用して、関係大学等へ広く広報する予定
- ⑧ 今年度と同様に、学校からの要望に基づいて、講演会や講師の派遣等を行う予定
- ⑨ 今年度と同様に、担い手確保・育成促進協議会、行政機関等と連携して、現場見学会、講師派遣等を行う予定

## 平成28年度の活動予定(新たな取り組み等)

- (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部 P23  
・今年度の取り組みを基に、継続した活動を予定
- (一社)石川県測量設計業協会 P24  
・「測量の日」の記念事業として、『測量教室』を金沢、加賀、能登地区の3小学校で開催
- (一社)石川県地質調査業協会 P25  
・工業系高校を対象に、地質調査の魅力を伝える説明会を開催予定
- (一社)石川県建設業協会 P26  
・今年度の取り組みを継続すると共に、内容の拡充を図る
- 金沢大学 P27  
・産学官の連携による特別講演会を継続的に実施
- 金沢工業大学 P28  
・3年生授業「進路セミナーⅠ」を継続実施  
・3年生及び大学院1年生を対象にインターシップの充実を図る  
・建設業界のイベントや各種シンポジウムに4年生、大学院生を参加させる
- 石川高専 P29  
・現場見学会を積極的に授業に取り入れる  
・インターシップの実施及び専攻科1年の必須  
・建設フェア等の様々な企画に積極的に参加
- 石川県立小松工業高校 P30  
・現場見学会、インターシップの実施
- 石川労働局 P31  
・建設プロジェクトの推進等引き続き実施
- 石川県 P32  
・高校生(普通科等高校)、女子生徒、児童・保護者、経営者向け、現場見学会等の実施
- 石川県教育委員会 P33  
・平成28年11月5、6日 第26回全国産業教育フェア石川大会の開催等
- 金沢河川国道事務所 P34  
・事務所独自の「現場見学会提案工事」の試行  
・普通科等高校、教員を対象にした、現場見学会を引き続き開催
- 日本建設業連合会北陸支部 P36  
・土木学会新潟会との共催で小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」について

平成28年 3月24日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
(石川県部会)

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部

今年度の取り組みを基にして、継続した次の活動を予定しております。

- ① 建設コンサルタントPR冊子「建設コンサルタントってどんな仕事」を北陸支部管内の建設系大学等9校に配布し、学校からの要望に基づき、「建設コンサルタントの業務」「キャリアプラン」等について説明会を継続して実施する予定
- ② 平成16年から「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づいて出前講演を行っており、平成28年度も継続して実施する予定
- ③ 北陸支部会員各会社において、平成28年度もインターンシップの受入れの募集を行い、建設コンサルタント業務などの実習・体験など行ってもらう予定
- ④ 北陸支部主催の「業務・研究発表会」に、今年度と同様に学生からの講演を予定しており、北陸支部管内の建設系の大学等にも聴講案内を行う予定
- ⑤ 今年度、現在制作中の第2弾「建コンPR動画」についても、第1弾同様に行政機関の後援をいただき、チラシ等を北陸支部管内の高等学校に配布する予定
- ⑥ 建設コンサルタントをPRする冊子の整備並びに第3弾の動画製作を予定
- ⑦ 建設コンサルタンツ協会本部が作成した大学生向けリーフレット及びポスターを活用して、関係大学等へ広く広報する予定
- ⑧ 今年度と同様に、学校からの要望に基づいて、講演会や講師の派遣等を行う予定
- ⑨ 今年度と同様に、担い手確保・育成促進協議会、行政機関等と連携して、現場見学会、講師派遣等を行う予定

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：(一社)石川県測量設計業協会

平成28年度は、当協会の創立50周年にあたる年であることから、例年 金沢地区小学校1校を対象に「測量の日」の記念事業である「測量教室」の開催を金沢地区、加賀地区、能登地区の3小学校で実施する予定で準備を進めている。

### ① 授業内容

室内授業 : 経緯度と日本の測量について学ぶ

野外授業 : ドローンを使った授業等

② 対象者 : 小学生 5年生

③ 会場 : 最寄り図書館、小学校教室、グラウンド等

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：(一社)石川県地質調査業協会

- ・工業系高校を対象に地質調査業の魅力を伝える説明会を開催予定。

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：(一社)石川県建設業協会

◎平成27年度の取り組み事業を継続するとともに、以下の内容の拡充を図る。

1. 普通高校への意見交換会の拡充を図るとともに、現場見学会を通して各校の普通科高校生に建設産業の社会的役割や魅力について広く理解を求める。
2. 高校生の保護者との意見交換会の拡充を図るため、実施高校を拡大して生徒の進路決定に影響力を持つ保護者に建設業界のことを理解してもらう。

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：金沢大学

今年度実施した特別講演会に対する学生さん達からの意見(今回の特別講演会に参加して、興味・関心を持ったこと、もっと知りたい事、自分の将来に向けて役立ったことなどを、“講演者ごとに記述、講演会への希望)ととりまとめて分析して、来年度の開催に向けた資料とする。

大方の学生さん達からは、このような内容(一つの公共工事の計画から完成までに、, 各種の職種の方々がどのような形でこの工事に携わっていくかをそれぞれの立場(公務員, コンサルタント, 建設会社)から講演いただく)での講演が非常に役立ったとの意見、会場ではためらっているものの多くの質問事項が寄せられている。

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：金沢工大 環境土木工学科

- ・金沢工大 環境土木工学科 平成28年度3年生授業「進路セミナーI」を平成27年度と同様に開講。その内容については、やはり、建設界から各講師を招き、それぞれの業務内容、魅力、役割、などについて紹介して頂きたい。45分授業として、各講師にはビデオ、パネル、模型、などを駆使して人材確保と育成に努めて頂きたい。
- ・金沢工大 環境土木工学科 3年生および大学院1年生対象のインターンシップの充実を図りたい。金沢工大進路開発センター産学連携推進部を窓口、8月からの夏休み期間内にて、できるだけ多くの学生に参加を促したい。このため、建設界からもより多くのインターンシップ受入れ体制を願いたい。従来より、国交省、自治体などの受入れ情報は届きやすいが、反面、建設業界（建設業連合会、建設コンサルタント協会、地質調査業協会、・・・など）の協会（や受入れ会社のリスト等）からの情報が届きにくい現状にある。なお、本校学生は地元の建設界にインターンシップ希望が多い傾向にある。
- ・国交省、自治体や事業者および業界のイベントや各種シンポジウムに本学4年生や大学院生を参加させ、必要であればこれまでに取組んだ研究、教育を積極的に報告・発表させていきたい。例えば、国交省主催「雪みらい」などに学生を参加させ、時間枠があれば研究発表をさせて行きたいが。このため、建設界のイベントや各種シンポジウムの案内を大学に届けてほしい。

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：石川高専

在校生については、

現場見学を積極的に授業に取り入れ、インターンシップについては、本科4年生は夏休み中に1, 2週間、専攻科1年は9月から12月までに約3ヶ月実施する。本科4年生は、希望者であるが、全員が経験するよう指導を行う。また、専攻科1年の場合、必修で実施する。

また建設フェアなどの様々な企画には積極的に参加する。

現場見学は、事前準備、事後の学習で充実を図る。

小学生から中学生およびその保護者に対しては、

文化祭での広報活動、

出前授業での広報活動

## 平成28年度の活動予定

機関名：石川県立小松工業高等学校

・第26回全国産業教育フェア石川大会(さんフェア石川2016)

2016年11月5・6日(土・日)

[http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~zensan/NC2/htdocs/index.php?page\\_id=0](http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~zensan/NC2/htdocs/index.php?page_id=0)



### 高等学校等の生徒による学習成果発表の祭典

心と技の彩りを 百万石の集いから

第26回全国産業教育フェア石川大会  
**さんフェア石川2016**

伝統を受け継ぎ未来へ伝えよう 人と人とのつながりをいかそう 新時代に対応した技能を身につけよう



#### 校内予定

・現場見学 7月(予定)

- 1年全員 協力 一般社団法人石川県建設業協会
- 2年全員 協力 国土交通省北陸地方整備局
- 3年全員 協力 石川県建築士会小松能美支部

・インターンシップ 3日間(10月)

2年 全員 建設業を就業体験し建設業への進路選択の一助とする。

・デュアルシステム 10日間

3年 5月から6月 (昨年度実績)

3社 丸西組 江口組 吉光組

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：石川労働局 職業対策課

### ◆建設業に係る本年度の取組

- ・建設プロジェクトの推進（ハローワークにおけるマッチングの強化）  
未充足求人フォローアップ、建設求人情報誌の作成配付、就職面接会の実施
- ・建設労働者確保育成助成金などの助成金制度の周知・活用  
パンフレットの配付、各会議等に係る助成金制度の案内、HPによる周知
- ・雇用管理改善促進事業の推進  
雇用管理改善促進事業（委託事業）による適正な雇用管理に係る集団的な普及・啓発の実施、雇用管理改善啓発セミナーの開催を実施。

（平成27年度に引き続き実施）

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：石川県

### (1) 高校生（普通科等高校）向け

- ・ 現場見学会  
→建設現場の見学や実際の仕事の説明などを行い、建設業に対する正しいイメージの定着を促し、建設業への入職意欲向上を図る。
- ・ 教師・生徒との意見交換会  
→生徒に対する建設業のPRや企業で働く先輩との意見交換のほか、教師と業界との意見交換も行い、建設業への入職促進に関する現状・課題等への理解促進を図る。
- ・ 学校訪問  
→建設業に一定の就職実績がある高校を訪問し、学校側との更なる連携強化と相互理解の促進を図る。

### (2) 女子生徒向け

- ・ 建設業で働く女性職員との意見交換会  
→県内建設企業で働く女性職員の話を通じて、建設業への女性の入職促進を図る。

### (3) 児童・保護者向け

- ・ 子供向け土木イベント「目指せ！土木エンジニア」  
→土木に関するイベントを通じて、土木に対して親しみを持ってもらうほか、子供の成長に大きな影響力を持つ保護者に対しても、建設業へのイメージアップを図る。

### (4) 経営者向け

- ・ 人材確保に関する意識改革セミナー  
→建設業意識改革セミナーにおいて、効果的な人材確保対策をテーマとした研修を行い、人材確保に関する取組の改善を図る。

## 平成28年度の活動予定

機関名：石川県教育委員会

平成28年11月5日（土）、6日（日）に、第26回全国産業教育フェア石川大会が、石川県産業展示館にて開催されます。その中で、石川県の産業を紹介する企業ブースを設ける予定です。その際のブース出展に関しまして、貴協議会におかれましてもご協力をお願いしたいと考えております。詳しくは、一度ご連絡させていただき、関係書類を持参し、ご説明に伺いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## 平成28年度の活動予定

機関名：金沢河川国道事務所

○平成27年度に引き続き、北陸地方整備局（金沢河川国道事務所）の独自の取り組みを継続する。

### 1・現場見学会提案工事の実施

・平成27年度試行の「現場見学会提案・実施モデル工事」の実施を受けて、今年度より事務所独自の、「現場見学会提案工事」を試行する。対象としては、工事実施地区の小学校、中学校、工業系の高校とする。

### 2・普通科等高校の教員を対象に現場見学会を実施

・昨年度、実施した普通科等高校の教員を対象とした現場見学会を実施する。（就職担当の先生に、建設界への理解と魅力を感じてもらい、就職指導の参考として頂く）

### 3・インターシップの実施

#### 1) キャンプ砂防

砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心のある大学生等を対象に今年度も、キャンプ砂防を実施する（実施時期：8月下旬）

#### 2) 長期インターシップの受け入れ

実習期間が、3ヶ月の長期インターシップを今年度も受け入れ、今後の就職活動に活かしてもらおう。

#### 3) 夏期実習生の受け入

建設界の担い手確保の観点から、積極的に夏期実習生を受け入れる。

### 4・各機関・団体との連携による取り組みの実施

#### 1) 金沢大学の学生を対象に「産学官」が連携した特別講義を実施

・今年度で2年目となる「建設の仕事（公務員・測量・コンサルタント・建設）すべて見せます」と題して実施した特別講義を引き続き実施する。

#### 2) 金沢工業大学の平成28年度1年生を対象とした、現場見学会の実施

・「学官」の連携として、大学での講義及び現場見学を実施する。

### 3) 連携した現場見学会の実施

- ・直轄工事において、各機関・団体と連携した現場見学会を実施する。前年度の事例として、輪島道路（能越監督官室）での取り組みを、他の工事箇所でも先進事例として参考にし、積極的に進める。

## 平成28年度の活動予定

機関名・団体名：日本建設業連合会北陸支部

① 土木学会新潟会との共催で小学校高学年を対象にした「親子工事見学会」については、引き続き今年も実施することとしています。

見学場所については、6月頃に選定することとし、特に親の理解が深まるような企画を検討していきます。

② 「市民現場見学会」については、担い手協新潟部会の計画に基づき、今年度は新潟大学の学生が対象になりますが、引き続き富山、石川方面の見学会も検討していきます。

※日建連北陸支部として、各県ごとの個別活動ではなく、北陸支部管内で広く活動が実施されるように、複数個所での見学会の企画・実施運営を進めてまいります。